

社会福祉法人報恩良友会 ケアハウス「ロータス桑野」発行  
岡山市中区桑野 486-12  
TEL 086-276-9801

# ひろば

vol. 188

川柳

「家族」

老夫婦盆と正月大家族

年かさね会話がふえたお父さん

七人の家族団欒サザエさん

家族でもわかつてあげれずあれにそれ

家族連れ坂道登り墓参り

骨壺がゆつくり冷める膝の上

家族連れうらやましいなモミジ狩り

家族いてたまにしんどいそれも良い

家族出来皆の安泰祈る身に

家族という輪の中心に母が居る

最近家族にもあるお盆玉

家庭とは愛の学び舎あそぶ所

家族とは心ゆるして気を使う

聖

なか

和夫

佐千子

金蚤

久子

初江

秀子

よしか

緑

厚彦

八重子

菊江

家族ゆえ感謝の言葉おぎなりに

読者より

野も山も流れも既に晩夏かな

初音

政子

九月の行事予定

七日(木)

一四時

柳瀬和之氏講演会

「岡山水ものがたり」

九日(土)

一五時

親睦会

エステ

二日(火)

一四時

食事会

一七日(日)

午前中

散髪

一九日(火)

一四時三〇分

お花教室

二二日(木)

一四時

川柳「月」

二七日(水)

一〇時すぎ

買い物

三〇日(水)

一四時

お月見茶会

\*\*\*\*\*

ギターコンサート

8月16日



おひさしぶりで



\*\*\*\*\*

9月のお誕生日

おめでとうございます

います



ひととき

異常気象に直面して

施設長 中島 聖恵

今年の夏の暑さ！お盆を過ぎても衰えることなく、残暑は一層厳しく、体温を超えるような暑さが続いています。そんな暑さの中、帰宅しようと駐車場に出ると、何と赤トンボが、トンボが無数に飛び交っているじゃないですか。まあこんなに群れをなしてトンボが飛び交うのを見るのは何年振りでしょう。連日の暑さにげんがりしていた私の気持ちに元気が急にみなぎってくるのを感じました。

地球儀の上の小さい日本列島を見るだけでも、この夏の岡山は高温多湿、関東の方では、ところによって集中豪雨だったり「東京はどんより曇って八月は青空が全然見えなかったのよ」という友達からの電話。確かに異常気象が続いています。海水の温度も上昇して地球全体の温暖化も進んでいるようです。十二月頃鹿児島沖の海で産卵して、日本海を北上する日本人になじみ深い「スルメイカ」が記録的な不漁になっているとニュースで報道していました。日本海の海面水温が平年より高い状態が続いていたそう、イカが生存できるぎりぎりの北海道の稚内沖に集まっているというのです。専門家によると「スルメイカは、環境の変化に敏感に反応する」そうです。

十年余りも前、アメリカのゴア元副大統領が「不都合な真実」という記録映画で地球温暖化の危機を訴え、世界中を講演して回られていました。北極圏の氷が溶けてシロクマの生存が危ぶまれるニュースも以前に見ました。そのことが正に現実となつて私の台所まで迫つてこようとは思っていませんでした。現に私の身体もこの暑さに

順応できなくなっているのははじめて実感しました。エアコンをつけたり消したりしながら、冬のパンツにウールの靴下、ダウンのベストを着たり脱いだり、衣類でコントロールしながら団扇であおいでいるという矛盾した動きをしています。

一方、ロータス桑野の周辺に目を転じると、目の前に青々と稲が育っています。田んぼを渡ってくる風の心地いいこと、涼しく汗がスーッと引くようです。畔には白鷺の姿を目にし、時折白い羽を広げて飛ぶ様は長閑そのもの。今年はこの桑野の自然に、鳩よりひとまわり大きいでしょう。ケリという薄茶色の鳥が加わりました。ケリは水田に巣を作り卵を産み雛をかえました。春からお盆の頃まで、ケンケン、ケンケンという高い鳴き声が続いています。ケリという名の鳥という事を入居の方から教えて頂きました。親鳥が鳴くと、一斉に雛は親鳥と反対の方向へ水田の中を走っていくそうです。親鳥は雛を守るために威嚇して、けたたましく甲高い鳴き声を上げているのです。まだこんな自然がある。鳥たちのエサがある。ドジョウや沢山の昆虫が生活できる豊かな自然が戻って来たと思うと嬉しくなってきました。

今この環境の中にあることのありがたさが胸一杯に込み上げてきました。

こんな豊かな自然の中で、私達はいつまで暮せるでしょう。私達も自然の中の一員です。大自然を壊すことなく、子や孫、ひ孫の代までも繋いで残していきたいものです。

